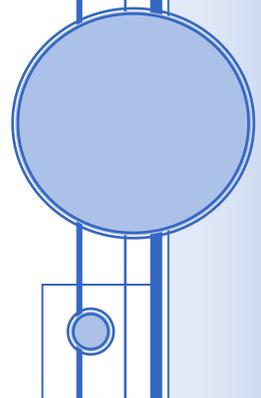


小平市いきいき協働事業  
省エネ・創エネ関心度アップ事業  
報告書

特定非営利活動法人 こだいらソーラー

2015/03/31



小平市いきいき協働事業

省エネ・創エネ関心度アップ事業

目次

1. 事業の目的・目標	2
2. 実施内容	
①環境カレンダー作成	2
②省エネ・創エネフェア開催	3
3. 事業を終えて・今後の展望	13
《添付資料》	15
会場アンケート A4 1枚	
商店への協力呼びかけ文 A4 2枚	
エコな買い物サービス券 A4 1枚	
環境カレンダー(別添)	
省エネ・創エネフェアチラシ・ポスター(別添)	
省エネ・創エネフェア実施内容パンフレット(別添)	

## 1. 事業の目的・目標

地球温暖化が進み、低炭素社会の実現が急がれる中、二酸化炭素排出抑制には、市民レベルでの努力が必要だが、環境意識を持ち省エネに努めている市民がいる一方で、まだ関心のない市民、また、省エネに関心を持ちながら、具体的な方法がわからないという市民も存在すると思われる。

市民が、地球環境の現状を知り、自分自身の切実な問題として捉え、家庭でエネルギーの節約をする省エネルギーや、太陽光発電システムなどを利用してエネルギーを創り出す創エネルギーに取り組むために、効果的な働きかけを実施する。

具体的には、気軽に参加でき、省エネ・創エネに関心を持つきっかけづくりを提供するイベントを開催し、啓発グッズとして環境カレンダーを作成し配布することで、省エネ・創エネについての市民の意識啓発を図る。

## 2. 実施内容

### ①環境カレンダー作成

省エネ・創エネ活動の啓発のために、2015年度版環境カレンダーを作成し、配布した。

見開きで4月から2か月ずつ綴ったカレンダーに、省エネ・創エネのヒントや暮らし方のアイデア、旧暦情報を掲載し、季節を感じながら、年間を通じて楽しく省エネができる内容にまとめた。

◆仕様：A4サイズ中綴じ(見開きA3サイズ)、16ページ、カラー印刷、1,000部

◆配布状況：省エネ創エネフェア 320部  
 環境フォーラム 148部  
 市の公共施設(環境保全課窓口、市民活動支援センターあすぴあ、公民館等)

今後の配布予定：ごみゼロフリーマーケット(2015年5月31日市役所立体駐車場にて)

いきいき協働事業 省エネ・創エネ展示(2015年6月9日～13日市役所にて)



環境カレンダー 表紙



4月5月

## ②省エネ・創エネフェア開催

省エネや創エネに関心のない多くの市民にアピールするために、気軽に入りができ、参加が可能な、中央公民館のオープンスペース(1階ギャラリー)で、週末にかけて開催した。

地球温暖化問題、再生可能エネルギーについて、省エネ・創エネの暮らしのヒント等のパネル展示、小平市 web 版環境家計簿の紹介、省エネ・創エネ機器等の展示を行った。開催中はスタッフが常駐し、適宜来訪者へ対応をした。

フェア開催中に会場で、省・創エネルギーについてのミニセミナーを実施し、個別相談コーナーも設置した。

クイズラリーを実施し、地元の商店にお楽しみサービスの協力を依頼することで、環境にやさしい買い物の啓発を行った。

来場者全員に、環境カレンダーを配布した。

また、期間中に、ベランダ太陽光発電組立セミナーを実施した。

◆開催日時 2015年1月16日(金)17日(土)18日(日) 9時30分～17時30分

◆会場 小平市中央公民館1階ギャラリー(小平市小川町2丁目1325)

### ◆省エネ・創エネフェア来場者数と展示内容

○ギャラリー展示来場者数:3日間で359名(内子ども46名)。



日にち	男性	女性	小計
1月16日(金)	52名(1)	39名(2)	91名(3)
1月17日(土)	78名(13)	70名(11)	148名(24)
1月18日(日)	53名(7)	67名(12)	120名(19)
<b>合計</b>	<b>183名(21)</b>	<b>176名(25)</b>	<b>359名(46)</b>

(カッコ内は子どもの人数)

### ○展示内容

*省エネ・創エネ機器紹介コーナー ～エコグッズは災害にも役立ちます～	
	<p><b>ベランダ太陽光発電装置</b> ベランダ等で発電した電気を蓄電池にためて使用するキット。キット内容:太陽光発電パネル、バッテリー、充電コントローラ、インバータ等。(写真はNPO法人太陽光発電所ネットワークのオリジナルの、今回の講座でも使用したキット。50Wのパネル使用。キット代実費25,000円。</p>
	<p><b>人力発電機</b> 自転車のようにペダルをこいで発電する装置。蓄電池に繋ぐと電気を貯められる。国立市でオフグリッド生活を送っていて、実際に使っているものを、藤井智佳子さんから借入した。  会場で、子ども達に大人気。</p>



**手回し発電ラジオ(左上)**  
 取っ手を回すと発電してラジオを聞くことができる。ライトがついたり携帯の充電もできる。  
**手回し発電式 LED ライト(左下)**  
 手回しで発電し、電池いらずの便利な懐中電灯  
**エコワット(中央上)**  
 コンセントにつなぐと、電気機器の消費電力や電気代がわかる。  
**ソーラー電池充電機(右上)**  
 太陽の光で電池を充電する(充電式電池専用)  
**ソーラースマホ・携帯充電機(右下とその斜め上)**  
 折り畳み式で持ち運びに便利。



**白熱灯と LED 電球との消費電力比較**  
 40W の白熱灯と、7W の LED 電球は同じ明るさであるが、LED 電球の方が白熱灯の約 6 分の 1 の電気消費量で省エネという展示物。メンバーが手作りした。



**鍋帽子**  
 鍋にかぶせて煮物等、余熱保温調理ができる。



**ソーラークッカー**  
 焼き芋や焼きりんごなど、太陽熱で調理できる。(熱を集めやすい黒い容器に入れる。)



**ソーラーライト**  
 昼間太陽光で発電し蓄えた電気で、暗くなるとライトがつく。



**青色 LED(手回し発電機付き)**  
 ハンドルを回すと発電して、発光ダイオードの青色ランプが点灯する装置。こいだいらソーラーメンバーの手作り作品。



**エレキテル(静電気発電機)**  
 回転子を回すと、摩擦による静電気を蓄電びんに集め、プラス極とマイナス極を近づけると、火花を起す。平賀源内が、1776 年に、オランダから渡来した品を復元したことで有名。サイズはほぼ当時のものと同等に作成。(制作者 佐々木和宏さん提供)

＊市内での創エネルギー活動紹介



マイクロ水車発電機

小平市内の用水路で水車発電し、灯籠に灯り(LED電球)をともしました(2013年8月「灯りまつり」にて)。(制作者 相澤雅隆さん、深見勝彦さん、早田満さん提供。それぞれ手作りの力作。)

バイオディーゼル燃料

廃食油からバイオディーゼル燃料(BDF)を作り、軽油の代わりに農耕車などディーゼル車で使用する。BDFはディーゼル発電機にも使用できる。(こだいら菜の花プロジェクト)

＊省エネ・創エネブックカフェコーナー



テーブルにお茶と飴を用意。ゆっくり本を閲覧できる。

すごろくに興じる親子連れも。

省エネ・創エネブックコーナー  
省エネ・創エネ関連の本を展示。

＊省エネヒントコーナー



楽しみながらエコな暮らし  
創エネ・省エネの工夫を展示

家庭の電気と水の使われ方

クイズラリー問題

クイズラリーお楽しみ協力店紹介

＊小平市コーナー



小平市内の太陽光発電の設置状況と設置費用助成案内

市民版環境配慮指針

小平市 web 版環境家計簿  
パソコンで実際に使って見られる。

＊太陽光発電・こだいらソーラー紹介コーナー



**小平でメガソーラーをつくろう！**  
市内の家庭や事業所で創エネ機器(太陽光発電、太陽熱温水器、エネファーム)を設置している人に、会場の白地図にシールを貼ってもらおうコーナー。みんなの発電量を合わせて小平でメガソーラーをつくろう！と呼びかけた。市内の創エネルギーを“見える化”することで、より推進を図る試み。

＊太陽光発電、地球温暖化、協力団体



**NPO法人太陽光発電ネットワーク**

自宅等に太陽光発電を設置している個人のネットワーク。地球温暖化、異常気象、家庭の太陽光発電装置設置に関して知っておきたい基本情報等を展示。



**FoE Japan**

地球規模での様々な環境問題に取り組む国際環境 NGO。地球温暖化の問題、ワットチェッカーによる電力使用の見える化の活動を展示。



**杉並・地域エネルギー協議会**

市民・事業者・行政の協働で分権型エネルギー政策を進め、地域で温暖化防止を実現できるように、具体的に行動している団体。地域での活動実績紹介の展示。



**市民電力連絡会**

再生可能エネルギーを増やそうと願う市民グループによる都市部での小規模「市民発電所」設置の動きを受け、課題を共有し、解決に向けて協力するネットワーク組織として 2014 年 2 月に発足。会場に市民電力連絡会の会員団体マップを展示。

◆ミニ・セミナー実施

開催日時・セミナー名・講師	内容	セミナーの様子
<p>1月16日(金) 14:00～15:00 創エネセミナー「電気代もCO<sub>2</sub>も削減できる太陽光発電」 講師:NPO 法人太陽光発電ネットワーク 田中稔さん</p>	<p>地球温暖化問題から、二酸化炭素を削減することの必要性を説き、個人宅に太陽光発電装置を設置する時の様々なアドバイスがあった。 (参加者 10名)</p>	
<p>1月17日(土) 11:00～12:00 省エネセミナー「冬に効果的な省エネ対策」 講師:杉並・地域エネルギー協議会 寺田加代子さん、西田穰さん</p>	<p>どうしたら地球温暖化を止められるのか、省エネ「行動」、「家電選び」「住宅」の面から説明。電気ガス水道の検針票をチェックすることや、エネルギー・ダイエットの9つのチャレンジ項目の紹介があった。 (参加者11名(内1名小学5年生))</p>	
<p>1月17日(土) 14:00～15:00 環境ミニセミナー「節電所をつくろう! 家庭の電気使用量の見える化から」 講師:FoEJapan 吉田明子さん</p>	<p>節電したり、消費電力の少ない家電に買い替えることで減らした電力を計算して、〇ワットの「節電所」を建設したとする考え方を紹介。それには、まず自分の家の電気使用量をワットチェッカーなどで調べて「見える化」することが大切だという。(参加者 15名)</p>	
<p>1月18日(日) 14:00～15:00 省エネセミナー「我慢より工夫、楽しく省エネ」 講師:NPO 法人太陽光発電ネットワーク 馬場裕さん</p>	<p>様々な枯渇性エネルギーについて、太陽光・太陽熱・風力・地熱・バイオマス・小水力などの再生可能エネルギーについて、そして家庭での省エネについての解説とエネルギーシフトの提案もあった。 (参加者 10名)</p>	

◆相談コーナー

相談者:17日6人、18日3人(内子ども1)

《日時・相談員》

1月17日 13:00～16:00

杉並・地域エネルギー協議会 寺田加代子さん、西田穰さん

1月18日 13:00～16:00

NPO 法人太陽光発電ネットワーク 馬場裕さん



17日 白熱灯と蛍光灯とLEDの比較展示があり、それに惹かれて話をして相談に移る人がいた。

18日 小学生から「電気はどうしてできるの?」という質問もあり。

◆会場を飾った旗

来場者が省エネや創エネについてメッセージを書いた三角旗を会場に飾った。

《メッセージ》

- ・良いものを永く使いましょう! ・無駄な買い物はしない。
- ・家族で鍋料理、一つの部屋で電気代節約、ホッカホカ。
- ・湯たんぽ&猫あんか。 ・いつでも家族団らんでエコ。
- ・寒い時はネックウォーマー、リストウォーマー、レッグウォーマー、3点セット。
- ・しょうが入り紅茶でポッカポカ。 ・ロングスカートとこたつでストーブいらず。
- ・水は大切につかって、出しっぱなしにしないでください。 ・夏は水風呂。
- ・クイズはまちがったけど楽しかったです。
- ・電気はこまめに消して、つけっぱなしはやめましょう。
- ・平和な自然エネルギーで暮らそう。 ・市民自らエネルギーをつくる時代 あなたも。
- ・「知っている」から「やっている」へ、省エネ。 Energy saving



◆ベランダ太陽光発電組立セミナー組立セミナー実施

1月18日(日)10:00～12:00 中央公民館 地下工作室にて

参加人数:キット組立8名、見学10名

参加費:キット組立 25,000円(キット代実費)、見学 300円(資料代)

講師:NPO 法人太陽光発電ネットワーク 馬場裕さん他2名

電気の基礎知識等の座学のあと、実際にベランダ等で発電した電気を蓄電池にためて使用するキットを組み立てた。キット内容:太陽光発電パネル(50W)、バッテリー、充電コントローラ、インバータ等。



◆クイズラリー実施

参加人数総計 69名

日にち	1月16日	1月17日	1月18日
参加人数	28名	26名	15名

クイズと答え

- クイズ1** 地球温暖化がこのまま進むと今世紀末までに世界の平均気温は何度上がる？  
 答え ⇒最大で 4.8℃
- クイズ2** 容器包装で 2ℓのペットボトルはいくら位？  
 答え⇒62円
- クイズ3** LED電球の白熱電球に対する消費電力は？  
 答え ⇒消費電力は 1/4～1/6 程度
- クイズ4** 家庭でいちばん水を使うものは？  
 答え ⇒トイレ

\*クイズラリー参加者には、「エコな買い物サービス券」を発行して、“環境にやさしいお買い物”を呼びかけた。

協力店：宮鍋園、鈴木園、カフェラグラス  
 (サービス券、商店への協力呼びかけ文は、資料参照)

◆会場での配布物

環境カレンダー、小平市 web 版環境家計簿案内チラシ、子ども用すごろく、ひだまりソーラー

◆会場アンケート実施 来訪者 313名(子ども除く)中、回答者 47人、回答率:15%。

「省エネ・創エネフェア」アンケート集計結果

問1. この催しを何で知りましたか。(複数回答あり) 回答者 46人、回答率 98%

- 1. 中央公民館会場で(27人)
- 2. チラシ(3人)
- 3. ポスター(2人)、
- 4. 市報(5人)
- 5. 新聞(3人)
- 6. 知人から(11人)
- 7. こだいらソーラーのHP(1人)
- 8. 市のHP(0)
- 9. その他(1人:中央公園のイベントで)

【主催者コメント】会場を通りかかって催しを知り、展示を見てくれた人が多かった。

問2. 「省エネ・創エネフェア」の内容で、良かったものがありますか。(1人3つまで回答可)  
 39名回答、回答率 83%

- ・ベランダ太陽光発電装置 8
- ・太陽光発電 2
- ・市内発電マップ 2
- ・個人宅の発電状況の案内展示 1
- ・マイクロ水車(小水力発電) 9
- ・菜の花プロジェクト 9(廃食油回収3、廃食油による燃料1、バイオエネルギー1 含)
- ・LED ランプ 3
- ・エコグッズは災害にも役立つ 1
- ・実際の機器展示 1
- ・静電気で発電 1

- ・楽しみながらエコな暮らし 1
- ・環境ブックコーナー 2
- ・NPO 法人こだいらソーラー 2
- ・地球温暖化 3(気温変化1含)
- ・ミニセミナー 2(太陽光発電1、省エネ1)
- ・相談コーナー 1
- ・測定でこんなことがわかった 1 (FoEJapan の展示)
- ・太陽光発電ネットワーク 1
- ・会場のカラフルな旗 2(環境についてのメッセージを記入)
- ・すごろく 1
- ・どれもよくできていた 1
- ・水の使用量 2
- ・クイズ 5
- ・ソーラー市民発電 事例 1

【主催者コメント】来訪者がまんべんなく展示を見た様子が伝わってくる。会場での滞留時間も長い人が多かった。ベランダ発電装置への関心が高い。組立講座の反響が大きかったことと合わせて、潜在的ニーズがあると思われる。

問3、ご自宅で行っている省エネや創エネの取り組みはありますか。42名回答、回答率 89%  
(例:電気をつけっぱなしにしないなど)

#### 《省エネの取り組み》

- ・電気・暖房・冷房などつけっぱなしにしない。 ・電気のつけっぱなしをしない。(4)
- ・(電気?)なるべく消す。 ・電気をこまめに消す。 ・こまめな消灯を心がけている。
- ・部屋の電気をつけっぱなしにしないよう気をつけている。
- ・仕事場の電気(照明)が3本あるなら、2本しかつけない。自宅の照明もこまめに消す。
- ・電灯の数を減らしている。 ・簡単なことなら電気も点けずにやっている。
- ・(室内灯)外灯を消している、洗濯機のコンセントを抜く。
- ・庭の外灯をソーラーにしている。 ・庭のライト(ソーラー)など。
- ・LEDを使うようにできたらいい。節電をすることも心がけていくことが大切。 ・LED化。
- ・LED ランプ、グリーンカーテン。 ・LED ランプに付け替えた。 ・LEDを使う。
- ・白熱電球から LED 電球に変えた
- ・暖房・冷房はできるだけ使わない。 ・寒さ、暑さ、がまん。
- ・太陽・風など部屋に取り込む。冬は雨戸を早めに閉めて外に逃がさない。
- ・省エネ家電への順次変更、アンペアを下げた。 ・待機電力を切る。 ・こまめな電源 off。
- ・電気は使用時のみにし、全般的に節約している。
- ・テレビ等を節電モードで使用する。必要のない電気を消す
- ・テレビ無し、電気は一か所で夜は寝る。 ・テレビを処分。 ・テレビを見ない。ラジオで十分。
- ・コンセントを抜く、テレビは eco で。
- ・電気をつけっぱなしにしない、お風呂はなるべくまとめて入る。 ・節水、節電。
- ・トイレは使用する場合のみスイッチオン(シャワートイレ)、省エネ家電に買い替えている
- ・早寝早起き・・・太陽光は私たち生き物の神様・・・に合わせる近づける
- ・風呂で使用した湯水をトイレに使用。 ・風呂はろうそくです。 ・水の出しっぱなし。
- ・水を出しっぱなしにしない、待機電力を減らす。 ・水を流しっぱなしにしない、電気はまめに消す。

#### 《創エネの取り組み》

太陽光発電(kW)―0、太陽熱温水器―2、エネファーム―0  
その他―2(「タイニーライトナノ発電所」所有、内断熱ハウス)  
・7～8年前に、小規模発電の装置をした。

【主催者コメント】「こまめに電気を切る」など、日常的に取り組みやすい内容で省エネを心が出ている人が多い。「電気をつけっぱなしにしない」と書いた人が多いのは、設問の例を見て書いた人が多いと思われる。創エネを実践している人は少なかった。会場での「自宅で取り組み状況を貼ってもらうマップ」にも付いたシールは少なかった。

問4. 省エネ・創エネについての感想などお聞かせください。回答 34 名、回答率 72%

- ・生き方、生活の知恵の参考になりました。
- ・意識啓発が大切。
- ・いろいろ工夫できることがわかりました。
- ・エアコンの電気代を教えて。
- ・温暖化について情報収集し、友人達と機会あるごとに「地球丸」の救護について語り合っています。
- ・国(政府)が積極的に進めるべき。
- ・原発ゼロに近づけるようけるよう協力したい。
- ・子どもでもわかりやすい内容で良かったです。
- ・今後の生活の中で、省エネについて取り組んでいきたいと思います。
- ・様々な手法が展示されている点が素晴らしい。
- ・省エネという言葉が無くなるとういと思う(当たり前の事と思う)。
- ・省エネは当たり前だが、創エネという言葉には響くものがある。
- ・省エネは知っていたが、創エネは知らなかった。
- ・条件を整えば太陽光パネルを乗せたいと思っています。
- ・知ることによって役立てることができると思う。
- ・素晴らしい取り組みに敬意を表します。
- ・せめて個人の努力できることをする。
- ・創エネという言葉を知らなかったのが、勉強になりました。自ら創るということも大事ですね。
- ・創エネという言葉をはじめて知った。
- ・創エネに興味があるが、マンションなので…。マンションに後付で設置できるものがあるといいのですが…。ちょっとした事で省エネができるのでびっくりしました。
- ・大事なことだと思います。長く続けられることをしていきたいです。
- ・太陽光発電。
- ・脱原発でエネルギーを利用したいと考えていますが、具体的には行動できていません。
- ・地域での省エネ・創エネ大事だと思います(特に創エネ)。楽しい展示で親しみやすくよかったです。
- ・地域でのネットワークがあることは知りませんでした。
- ・電飾の催し物は LED に変えたとはいえ、何万、何十万など近年競い合っているようで無駄。
- ・とても参考になりました。次回も期待しています。
- ・ベランダ太陽光発電組立セットに興味があります。今回は残念ながらセミナーに参加できませんが、機会をみつけたと思います。
- ・勉強して、自分でできることで協力したい。
- ・勉強になりました。ありがとうございました。
- ・見やすく良かったです。クイズがどこにあるかわかりにくかった。
- ・無意識な人に伝えるのはむずかしい。
- ・もっと家庭で電力を作ることが一般的になり、電力会社にばかり頼らない社会になってほしい。
- ・小学校屋上への設置～素晴らしいこと～立川市でも設置したい。小平市の取り付け見習って、立川市へも導入させたい。立川市の市長選挙、8月にあり～働きかけか。

○差し支えなければ、お名前、住所、連絡先をお知らせください。 記入 20 人

住所内訳:小平市 16 人、立川市 2 人、東村山市 1 人、東大和市 1 人

【主催者コメント】住所を記入された方の内訳は、大多数は小平市民。他市から参加され方の内訳は、中央公民館でイベントを知った人2、新聞1、知人から1であった。

- 今後、会からお知らせ等差し上げてもよろしいでしょうか。 はい(14人)  
 イベントを知ったもの内訳:中央公民館で(6人)、新聞で(3人)、ポスター(1人)、知人(4人)

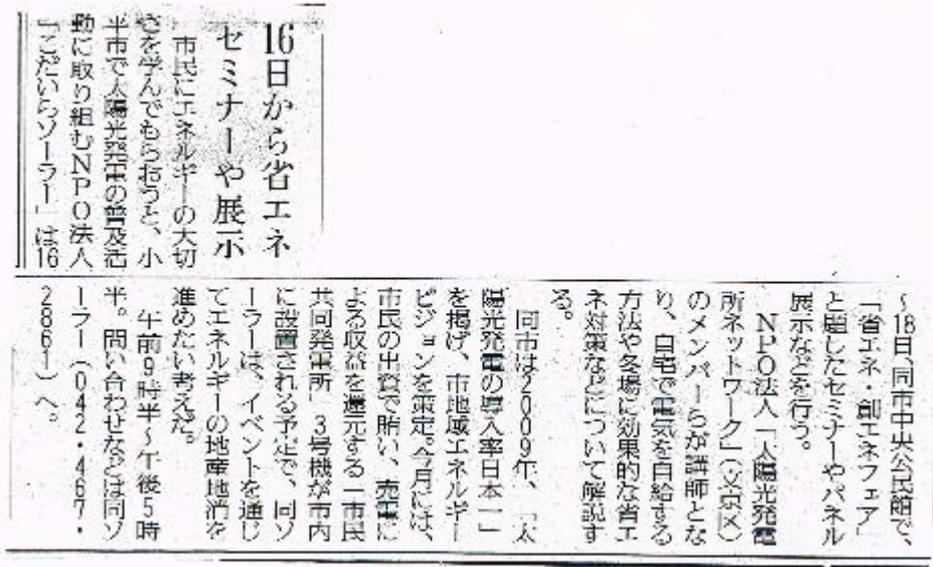
【主催者コメント】このイベントを中央公民館で知った27名中、約2割に当たる6名が、会からの情報提供を希望している。新聞で知った3名全員が情報提供を希望している。関心の高さがうかがえる。

◆広報

- チラシ配布 カラーチラシ1,000枚配布  
 市が印刷し、市内全小学校児童に9,000枚配布
- ポスター配布 50枚
- メディア関係:市がプレスリリース

読売新聞

1月11日記事



東京新聞 1月16日取材、17日朝刊に記事掲載



### 3. 事業を終えて・今後の展望

省エネ・創エネフェアには主催者予想を上回る 359 名が来場した。(予想来場者 100 人～200 人)

会場アンケートからもわかるように、中央公民館に来て催しを知り、来場したという人が多く、また、「生き方、生活の知恵の参考になりました。」「勉強になりました。」「いろいろ工夫できることがわかりました。」という感想があり、環境に関心のない市民や関心があっても情報に触れる機会の少ない市民へのアピールと啓発活動という目的はある程度達成できたと考える。

展示内容が盛りだくさんであり、来場された方は一つ一つの展示物をじっくり見て、滞在時間が長い人が多かった。

実際に動かしてみられる機器や、日頃あまり見る機会のない水力発電装置やBDF利用の試みも関心を引いていた。子どもにとっても興味をそそる内容があったことも良かった。

来場者の中には、連続して展示を見に来られたり、ミニセミナーのために再来訪された方もいた。

ミニセミナー参加者も予想した各 10 人を全セミナーにおいてクリアした。

講演会開催という形ではなく、中央公民館ギャラリーというオープンな会場で開催することにより、広範な市民に省エネ・創エネの情報を届けられたことで、本事業は効果的であったと考える。

別会場で同時開催したベランダ太陽光発電組立セミナーには、定員 5 名を上回る 14 名の申し込みがあり、関心の高さが伺えた。作成したキットは、200W までの家電製品を太陽光パネルを通じて使うことができ、講座後、受講者から、ベランダへの設置方法の問い合わせがあった。小さい電力ではあるが、日常生活への浸透が期待される。予約なしに当日会場にこられた見学希望者もいたことから、フェアの会場であるギャラリーで開催すれば、より多くの市民の目に触れることができ、情報を伝える良い機会となったと思われる。再度、オープンスペースでの開催を検討していきたい。

地球温暖化の問題を解決しなければならないという意識は市民の中に広く浸透されてはいるものの、省エネや創エネを具体的にどのように取り組んだらいいのかという情報が行きわたっていない状況が伺えた。省エネ・創エネが無理なく楽しくできることを知るきっかけを提供することで、より多くの市民に行動を促すことが可能と思われる。今回のような催しが継続的に開催されることが期待される。

また、今回の展示の中で、創エネ機器(太陽光発電、太陽熱温水器、エネファーム)を設置している人に、会場の白地図にシールを貼ってもらうコーナー「小平でメガソーラーをつくろう」や、パソコンを使っての環境家計簿お試しコーナーは、一人一人に声を掛けないと見るだけになってしまい反省が残った。どちらも、省エネ・創エネ行動に繋げる働きかけになるもので、今後工夫をしていきたい。

クイズラリー参加者に配布した「エコな買い物サービス券」の使用状況数は、協力店でも正確に把握していないが、協力店からは、環境の視点からの消費者への働きかけの試みとして勉強になったという評価をいただいた。

今後も商店に働きかけながら、市民に環境意識を喚起させる取り組みとして検討していきたい。同時に商店の環境意識の啓発も研究していきたい。

省エネ・創エネフェア終了後、実施内容を紹介し、省エネ創エネの啓発活動に役立てるためのパンフレットを作成した。フェアに参加しなかった人にも情報を届けることで、省エネ・創エネ活動に取り組むきっかけとなれば幸いである。省エネ・創エネ情報を伝えるには、様々な方法で、根気強く継続していくことが必要と考える。事業終了後も、啓発ツールとして活用していきたい。

配布した環境カレンダーは好評で、省エネ・創エネ情報を伝えるツールとして有効と思われる。継続して発行し、多くの市民が活用することを期待する。

今回、地域エネルギービジョンを策定し、その実践活動を推進している環境保全課と、省エネ・創エネの啓蒙活動を行う当会とで、行政と市民団体それぞれの特性を最大限に生かしながら、省エネ・創エネ関心度アップ事業を、協働することで、目的達成に大きな成果をあげることができた。市から財政的・広報的支援とアドバイスを受け、市民団体の地域に根差した機動力を提供しながら、理想的な協働事業ができたと考える。この成果を、次の協働事業へと活かしていきたい。

また、今回の実践の成果を踏まえ、さらに効果的な企画を実践していきたい。

具体的には、以下の取り組みを検討していきたい。

- ・太陽光パネル組み立て講座の継続的な開催と、参加者のその後の活用についての調査。
- ・省エネ・創エネ啓発ツールの出張展示や常設展示への模索とホームページ等での掲載等、効果的な情報発信。

#### 《その他反省点》

- ・事前にチラシやポスターなどを見て、ミニセミナーを聞きに来た人は少なかった。広報をもっと工夫した方がよかった。
  - ・相談コーナーの来訪者が少なかった。17日6人、18日3人(内子ども1)
- 会場での、質問はいくつかあったので、興味をひくものを置くなど、個別省エネ診断ができる体制を整え、事前受付をするなど、活用してもらう方法を考える必要があった。



《添付》

会場アンケート

「省エネ・創エネフェア」アンケート

1. この催しを何で知りましたか。

中央公民館会場で チラシ ポスター 市報 新聞 知人から

こだいらソーラーの HP 市の HP

その他( )

2. 「省エネ・創エネフェア」の内容で、良かったものがありますか。

( ) ( ) ( )

3. ご自宅で行っている省エネや創エネの取り組みはありますか。

(例: 電気をつけっぱなしにしないなど )

太陽光発電( kW) 太陽熱温水器 エネファーム

その他( )

4. 省エネ・創エネについての感想などお聞かせください。

○差し支えなければお知らせください。

お名前

ご住所

連絡先

○今後、会からお知らせ等差し上げてもよろしいでしょうか。 はい いいえ

ご来場ありがとうございました。

商店の皆様へ

2014年12月

## 「省エネ・創エネフェア」へのご協力をお願い

日頃お世話になっております。

私ども、NPO法人こだいらソーラーは、省エネルギーや自然エネルギーの推進を地域から発信し、実践している団体です。現在、小平市内に太陽光市民共同発電所1、2号機を設置し、2015年1月には3号機の設置・稼働を予定しています。

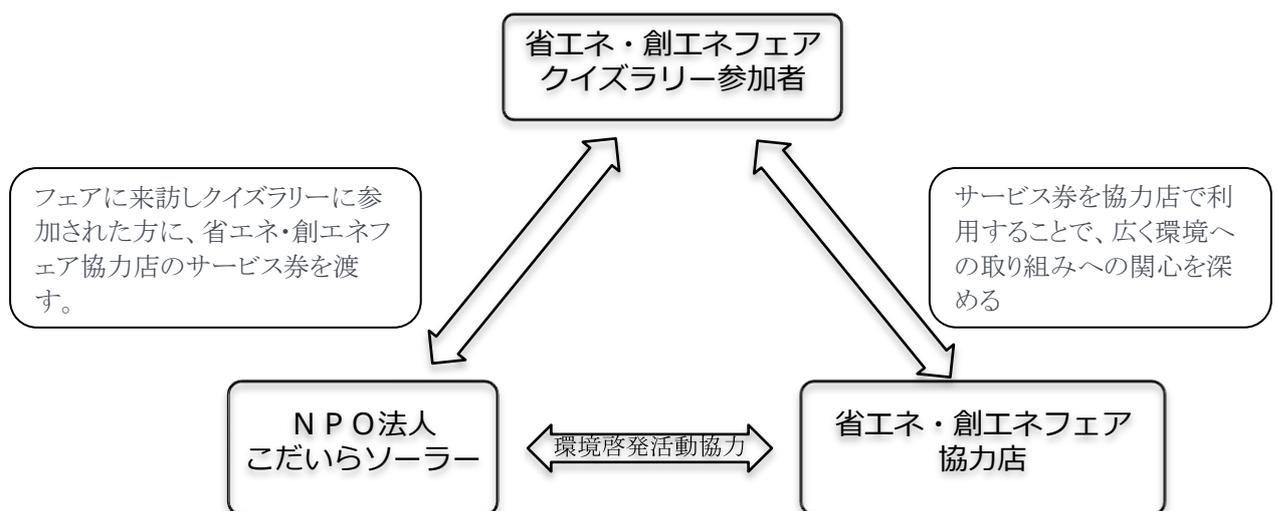
この度、小平市と共催で、エネルギーの削減と自然エネルギーの普及をめざして、2015年1月16日（金）から18日（日）の3日間、中央公民館ギャラリーにて「省エネ・創エネフェア」を開催します。

省エネ・創エネ情報のパネルやグッズ等の展示、ミニセミナー、自立型太陽光発電装置づくりなど盛りだくさんの内容です。

つきましては、創エネ・省エネについてより多くの方に知っていただき、地域に広げていきたいと考え、「省エネ・創エネフェア」のチラシ・ポスターの掲示をお願いする次第です。

また、フェア来場者に省エネ・創エネについてのクイズラリーを実施する予定で、その参加者に環境行動の啓発につながるサービスの提供をお願いできたらと考えております。たとえば、環境にやさしい商品の割引等などのご協力いただければ幸いです。

商店の皆様にとってはお忙しい時期かと存じますが、企画の趣旨に賛同いただきご協力いただきたく、どうぞよろしくお願い申し上げます。詳細は別紙をご覧ください。



NPO法人 こだいらソーラー 理事長 都甲公子  
〒187-0002 東京都小平市花小金井 5-55-14  
問い合わせ・連絡先 省エネ・創エネフェア担当 090-7222-8371  
<http://kodairasolar.wordpress.com/>

## 「省エネ・創エネフェア」クイズラリー参加者へのサービス提供のお願い

・「省エネ・創エネフェア」来場者は 100～200 名と想定しています。

来場者の中で、省エネ・創エネに関するクイズラリーに参加した方へ環境啓発購買活動につながるようなサービスの提供をお願い致します。

たとえば、環境にやさしい商品(詰め替え商品、リサイクル商品、環境に負荷を与えない商品、フードマイレージの少ない国産原料を使った商品など)の割引、容器持参者・マイバッグ持参者に〇円引等。

サービスの内容と期間はお店で決めていただきます。

フェア会場で発行した「協力店サービス券」と引き換えにサービスの提供をお願い致します。

・協力いただいたお店に貼っていただく「省エネ・創エネフェア」のチラシに「協力店」のステッカーを付けさせていただきます。

・「省エネ・創エネフェア」の会場に、協力店で扱っている環境にやさしい商品やサービスを掲示させていただきます。

・NPO 法人こだいらソーラーの HP に協力店の情報を載せさせていただきます。

・協力店の申し込みは以下のフォームでお願い致します。

ファックス・メールでも結構です。

**\*申し込み締め切り2015年1月14日(水)**

NPO法人 こだいらソーラー

問い合わせ先:090-7222-8371

ファックス: 042-467-2951

メール: kodaira.solar@gmail.com

キリリ線

### 省エネ・創エネフェア サービス提供協力店申し込み書

店名	住所・電話番号	提供サービスの 内容・期間	備考(定休日・営業 時間等)	環境に優しい取組み
(記入例)〇〇店	学園東町〇-〇-〇 042-〇〇〇-〇〇〇 〇	詰め替え商品〇%引き 1月末まで	火曜休み 10時から19時まで営業	省包装をしている/店内 の温度を適正にしている /量り売りをしている。

その他、何かありましたらご記入ください。

## ★地元のお店で、エコな買い物をしよう！

買い物にはマイバッグを持っていきましょう！  
省包装のもの、地元でとれた生産物、環境に負荷を与えない商品  
を買いましょう！ 右下のサービス券を切り取って、掲載されて  
いるお店を利用すると特典が受けられます。（有効期間 1 月末日）

### 宮鍋園学園坂店

#### 学園駅前店

(学園東町 1-8-1 tel:042-341-0627)

##### 【サービス内容】

マイバッグ持参の方に、全品 2 割引  
き。

◆日曜休み

◆営業時間 9:00~19:30

《お店のエコな取り組み》



### 狭山問屋 鈴木園

(仲町522 tel:042-341-0509)

##### 【サービス内容】

エコ茶を買われた方に、ポイント 2  
倍。

◆日曜休み

◆営業時間 9:00~18:30

《お店のエコな取り組み》



### カフェラグラス

(美園町 1-24-14 tel:042-344-7199)

##### 【サービス内容】

オーガニックコーヒー

「森のコーヒー」を 100 円引き

◆年中無休

◆営業時間 10:30~18:00

《お店のエコな取り組み》

オーガニックコーヒー、Tea。



省エネ・創エネフェア

エコな買い物

サービス券

有効期間 2015 年 1 月末日